

平成31年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
66	県立いわき海星高等学校	全日制

I 期選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
		<p>本校は、海洋・船舶・水産・通信に関する県下唯一の高等学校として、国際社会にはばたくチャレンジ精神旺盛な人材の育成を目指しており、次のような生徒を求めている。</p> <p>① 水産科目に興味・関心を持って、学習活動や資格取得に意欲的に取り組む生徒。</p> <p>② 中学校において部活動に真剣に取り組む、入学後も部活動に取り組む生徒。 (各科共通)</p> <p>なお、各学科の志願して欲しい生徒は次のとおりである。</p>	本校への志望動機及び将来への抱負、高校生活で特に学びたいこと等について本人が記入する。  (各科共通)	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化せず、優秀な活動については特記事項として考慮する。  (各科共通)	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語、社会、数学、理科、英語)を含む。 面接については、段階評価する。  (各科共通)	作文を実施する。 テーマを示し、それに関する自分の考えを600字程度にまとめる。 作文については、段階評価する。  (各科共通)	
水産科 海洋科	35% 程度	<p>① 航海士の資格を取得し、大型船舶の船長や航海士を目指している生徒。</p> <p>② 漁業並びに海洋レジャーに関する知識・技術を身につけ、水産・海洋に係る職業に就こうとする生徒。</p> <p>③ 潜水士や船舶の荷役設備などに関する知識・技術を習得し、港湾建設・荷役などの関連産業に就こうとする生徒。</p>					
水産科 食品システム科	35% 程度	<p>① 食品加工や調理等の「食」について、興味・関心を持ち、積極的に学習に取り組もうとする生徒。</p> <p>② 食品に関する知識と技術を身につけ、関係する職業に就こうとする生徒。</p> <p>③ 食品に関わる各種資格取得に積極的に取り組もうとする生徒。</p>					
水産科 情報通信科	35% 程度	<p>① 無線通信士の資格を取得し、海上・航空・陸上における通信技術者を目指している生徒。</p> <p>② 無線技術士の資格を取得し、無線設備のメンテナンスエンジニアを目指している生徒。</p> <p>③ 電気工事士や工事担任者(ネットワーク技術者)の資格を取得し、通信産業の技術者を目指している生徒。</p>					
水産科 海洋工学科	35% 程度	<p>① 機関士の資格を取得し、大型船舶の機関長や機関士を目指している生徒。</p> <p>② 陸上の機械、自動車整備などの知識・技術を習得し、また環境設備(ボイラ、冷凍、空調、電気工事等)の資格を取得し、関連する職業に就こうとする生徒。</p> <p>③ 海洋土木、港湾建設機械の知識・技術を習得し、関連産業の技術者を目指している生徒。</p>					

平成31年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
66	県立いわき海星高等学校	全日制

Ⅱ 期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	面 接		
水産科 海洋科	(40)	5教科とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化せず、優秀な活動については特記事項として考慮する。	個人面接を実施する。 面接については、段階評価する。	同等とする。	
水産科 食品システム科	(40)					
水産科 情報通信科	(40)					
水産科 海洋工学科	(40)					

Ⅲ 期選抜

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
水産科 海洋科 食品システム科 情報通信科 海洋工学科	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化せず、優秀な活動については特記事項として考慮する。	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容（国語、社会、数学、理科、英語）を含む。 面接については、段階評価する。	作文を実施する。 テーマを示し、それに関する自分の考えを600字程度にまとめる。 作文については、段階評価する。	